

2023年11月期 第2四半期決算説明会

2023年8月2日

株式会社ノダ

NODA

© 2023 NODA CORPORATION All Rights Reserved

目次

- グループの状況 P 3
- 連結業績概況 2023年11月期 2Q P 9
- 連結業績予想 2023年11月期 通期 P23
- 配当予想 P33
- ESGに関する取り組み P35

グループの状況

グループの出資状況

【連結決算対象会社の状況】

《連結子会社》

アドン(株)

(株)ナフィックス

スラインダー社 (インドネシア)

石巻合板工業(株)

*アイピーエムサービス(株)

*アイピーエムサービス(株)は石巻合板工業(株)の100%子会社

※出資比率：石巻合板工業(株)は80%、それ以外は100%

《持分法適用関連会社》

サンヤン社 (マレーシア)

※出資比率：49%

【上記以外の状況】

《非連結子会社》

(株)巴川製作所

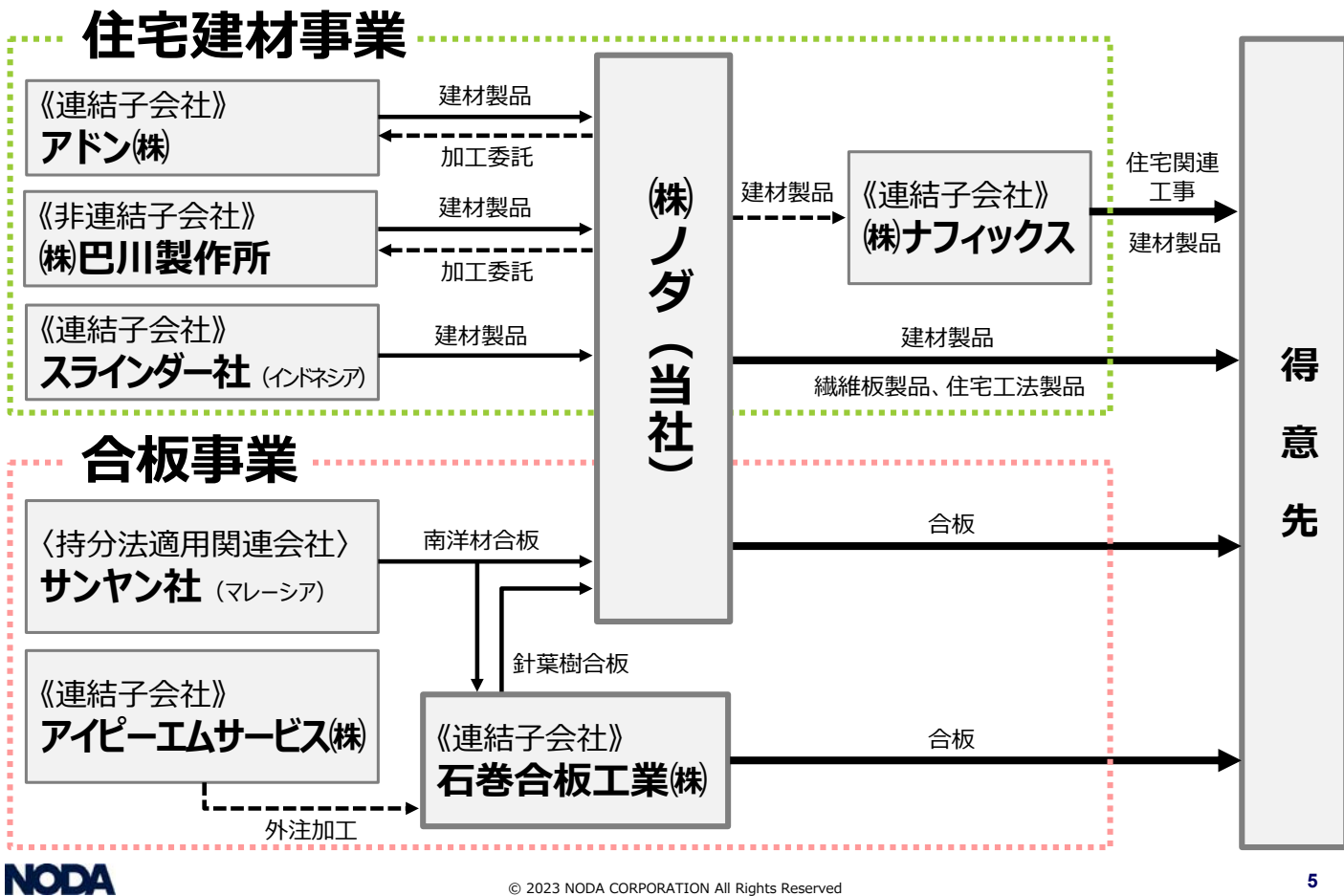
※出資比率：100%

《資本提携》

IFI社 (インドネシア)

※出資比率：7.4% (ノダ3.7%、石巻合板工業3.7%)

グループの事業系統図



グループの事業分野（住宅建材事業）



グループの事業分野（合板事業）

国産針葉樹合板

構造用ヒノキハイブリッド



構造用針葉樹合板



【生産拠点】

（株）ノダ 富士川工場
（静岡県富士市）



石巻合板工業（株）
（宮城県石巻市）



サンヤン社
（マレーシア）



単板積層材（LVL）



オールヒノキ（無節）



ラワン構造用合板



塗装型枠用合板



輸入南洋材合板

NODA

© 2023 NODA CORPORATION All Rights Reserved

7

グループの拠点概要

（2023年5月末現在）

営業拠点
49ヶ所

生産拠点
7ヶ所

ショールーム
7ヶ所

国内 4ヶ所
海外 3ヶ所
※資本提携先を含む



NODA

© 2023 NODA CORPORATION All Rights Reserved

8

連結業績概況

2023年11月期
第2四半期

2Q累計 連結業績ハイライト（総括）

減収減益

| (金額単位：百万円) | 前期実績 | 当期実績 | 前期比 |
|----------------------|--------|--------|--------------------|
| 売上高 | 38,641 | 35,314 | ▲3,326 (▲8.6%) |
| 営業利益 | 4,694 | 2,578 | ▲2,115 (▲45.1%) |
| 経常利益 | 4,985 | 2,691 | ▲2,294 (▲46.0%) |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 2,983 | 1,565 | ▲1,418 (▲47.5%) |

住宅業界を取り巻く事業環境

製造コストの上昇

- ・原材料・副資材価格、物流費、電力料等の高騰

新設住宅着工戸数の減少

- ・建築コストの高騰などにより、住宅取得マインドが低下
- ・特に持家（注文住宅）は、前期比1割減と低迷
 - － 分譲戸建も減少傾向、貸家は堅調

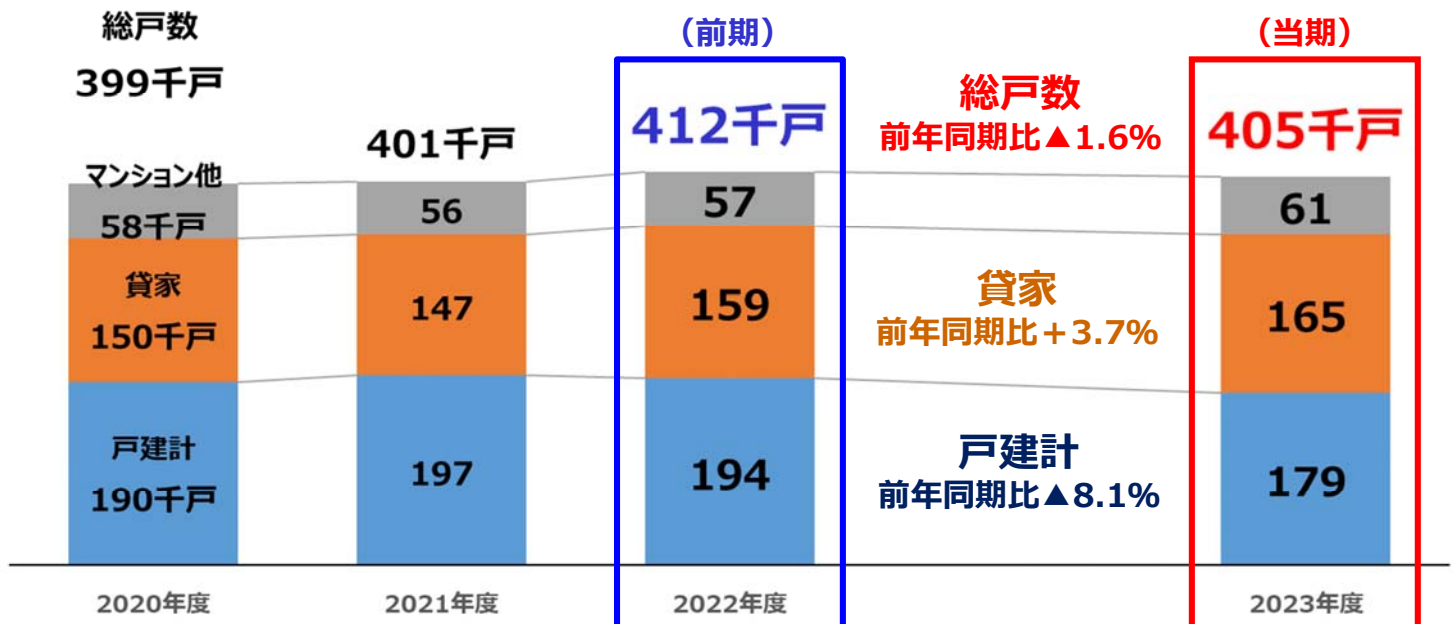
合板相場の調整（ウッドショックの反動）

- ・昨年後半、相場が横ばいに転じると荷動きが急速に低下
- ・国内在庫の増加を背景に、国産・輸入とも供給を大きく抑制
- ・しかし、今年に入り相場は調整局面となり、出荷の低迷が継続

新設住宅着工戸数の状況（12月～5月）

- ・総戸数は前年同期比▲1.6%
（内訳：持家▲10.6%、分譲戸建▲3.9%、貸家+3.7%）
- ・当社グループの販売に関係深い「持家+分譲戸建」は同▲8.1%

※戸数は単位未満切り捨て



資料) 国土交通省「住宅着工統計」

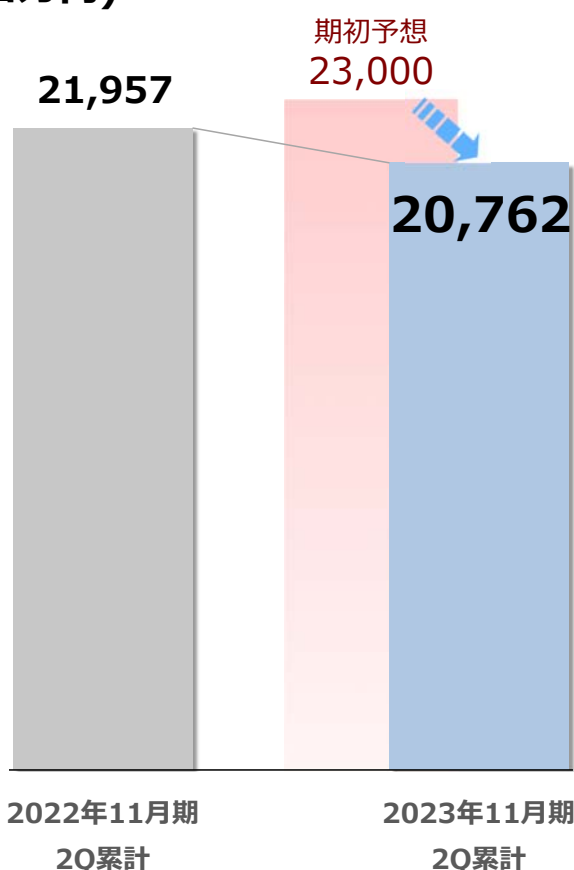
※各年度の期間は、12月～5月の6ヶ月間を示す

住宅建材事業

2023年11月期 第2四半期

連結業績のポイント（売上高）

(百万円)



住宅建材事業〈要因〉

前年同期比▲1,194百万円
(▲5.4%)

・販売量の減少

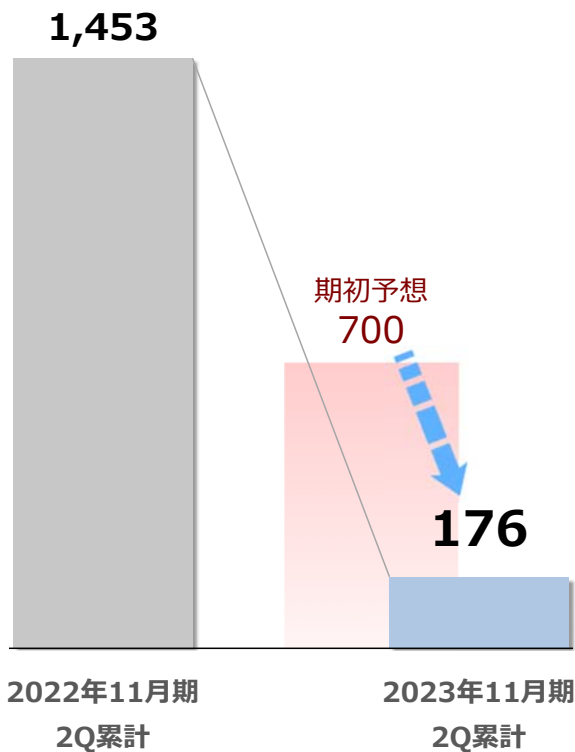
- ✓ 建材・MDF全般で減少
- ✓ 持家を中心に住宅着工が低迷し、販売を伸ばせず
- ✓ 販売単価は上昇
 - ・価格改定
 - ・新シリーズ「カナエル」発売

連結業績のポイント（セグメント利益）

(百万円)

住宅建材事業〈要因〉

前年同期比▲1,276百万円
(▲87.8%)



・販売量の減少

✓ 生産調整により単価が上昇

・原材料・副資材・電力・物流等のコスト高騰

✓ 特にMDFの製造コスト上昇

✓ 自助努力や価格改定では吸収しきれず

NODA

© 2023 NODA CORPORATION All Rights Reserved

15

合板事業

2023年11月期
第2四半期

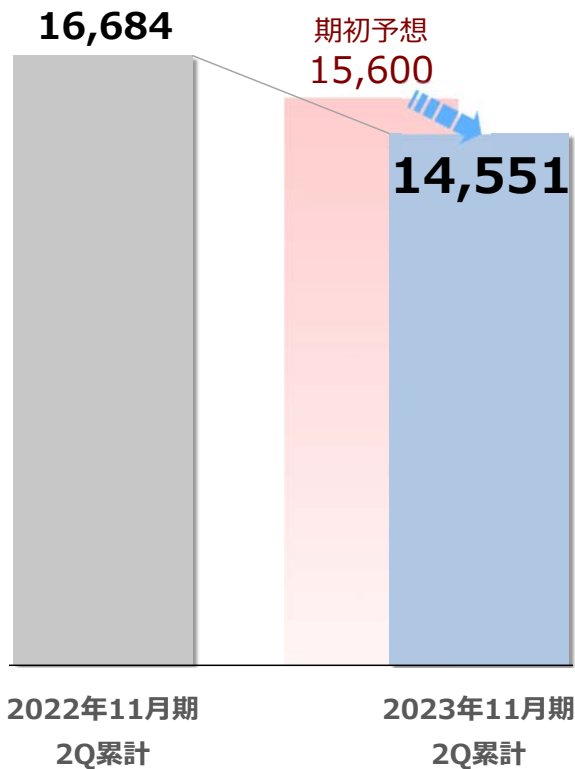
NODA

© 2023 NODA CORPORATION All Rights Reserved

16

連結業績のポイント（売上高）

(百万円)



合板事業〈要因〉

前年同期比▲2,132百万円
(▲12.8%)

・販売量の減少

- ✓ 住宅着工の減少などにより、国産・輸入とも需要が低迷

・相場は調整局面で推移

- ✓ 国産・輸入とも在庫が増え、販売価格は値下がり傾向
- ✓ 国内の各合板メーカーは、生産調整を継続

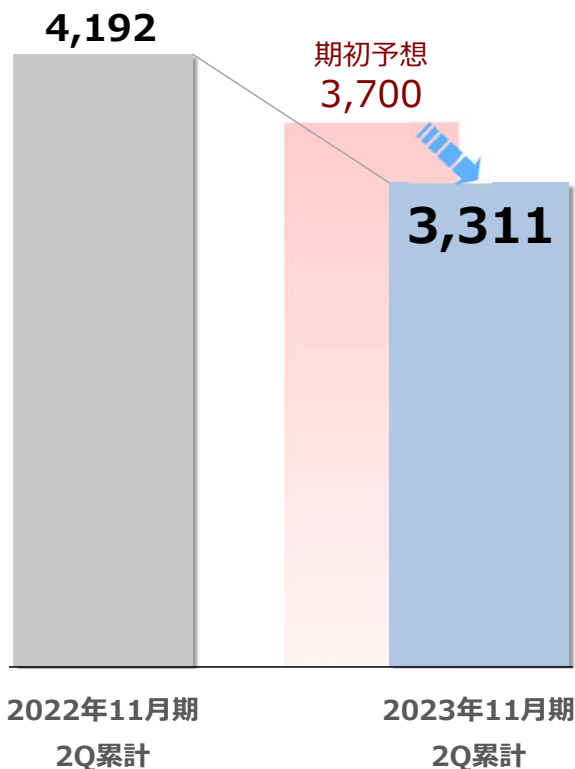
NODA

© 2023 NODA CORPORATION All Rights Reserved

17

連結業績のポイント（セグメント利益）

(百万円)



合板事業〈要因〉

前年同期比 ▲881百万円
(▲21.0%)

・相場は調整局面で推移

- ✓ 販売価格は値下がり傾向

・コストアップ^o

- ✓ 原木、接着剤、電力料等
- ✓ 輸入南洋材合板は、前期の大幅な仕入コスト上昇により、採算性がさらに低下

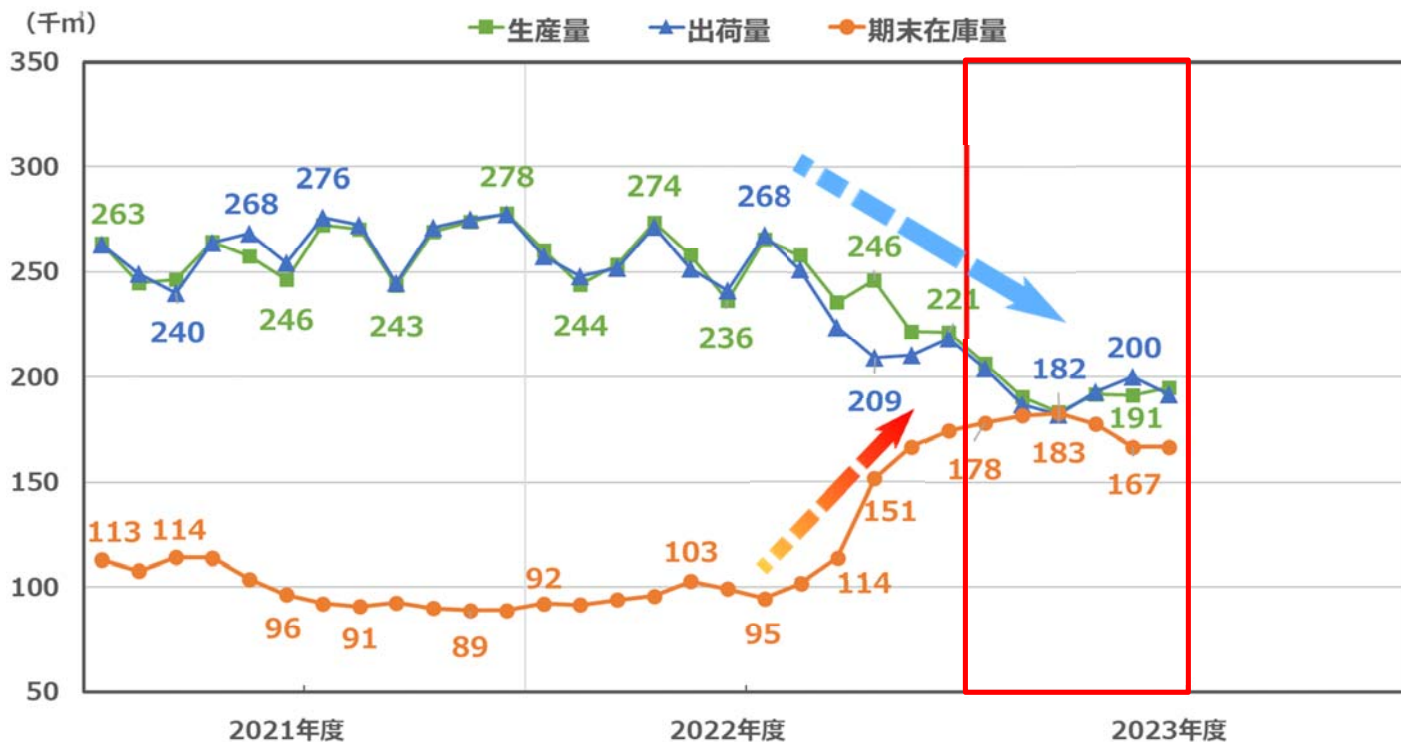
NODA

© 2023 NODA CORPORATION All Rights Reserved

18

国産針葉樹合板 生産・出荷・在庫 推移

昨年秋口から出荷が急減し、適正在庫水準を維持するため生産調整継続



資料) 農林水産省「合板統計」

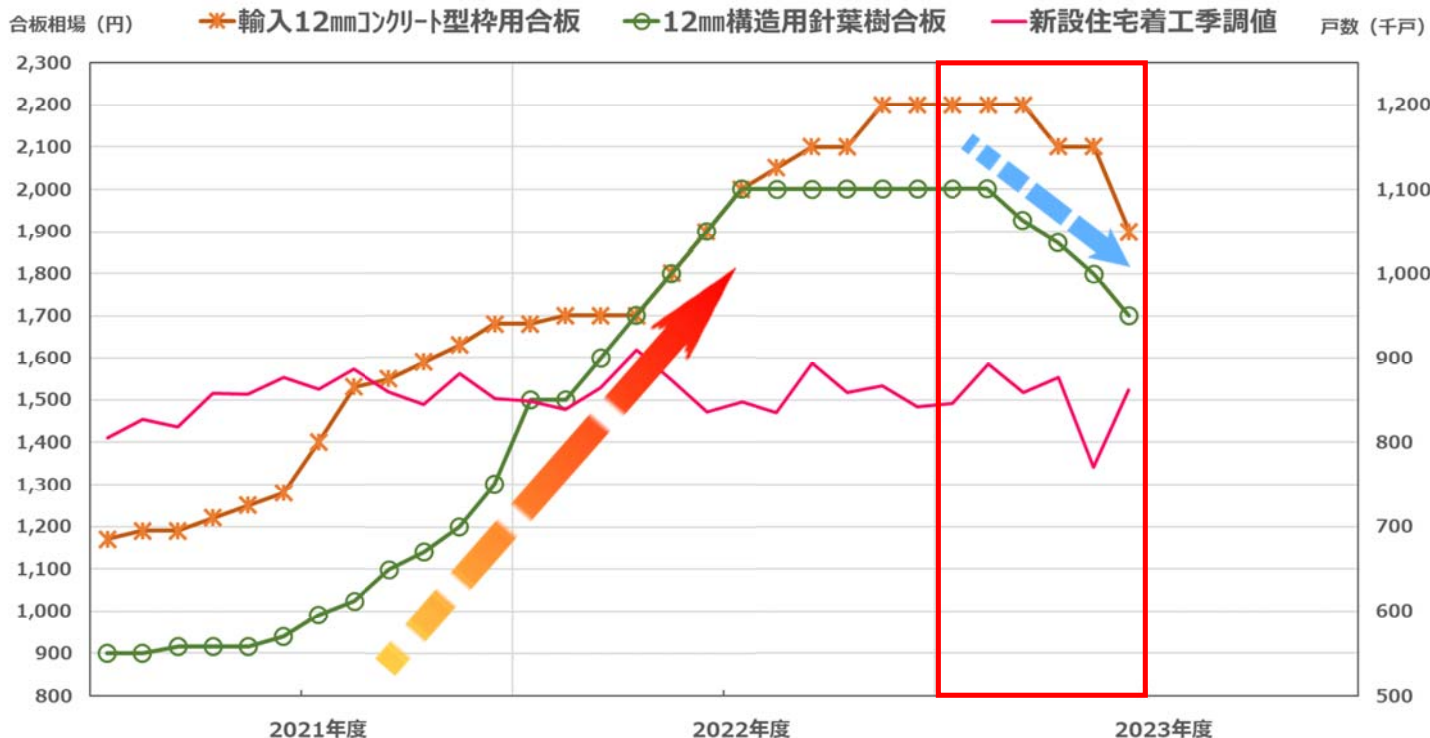
NODA

© 2023 NODA CORPORATION All Rights Reserved

19

市場環境認識 (合板相場)

ウッドショックから一転して需給が緩和し、合板相場は調整局面で推移



資料) 日刊木材新聞社「相場表」(針葉樹合板、輸入合板)、国土交通省「住宅着工統計」

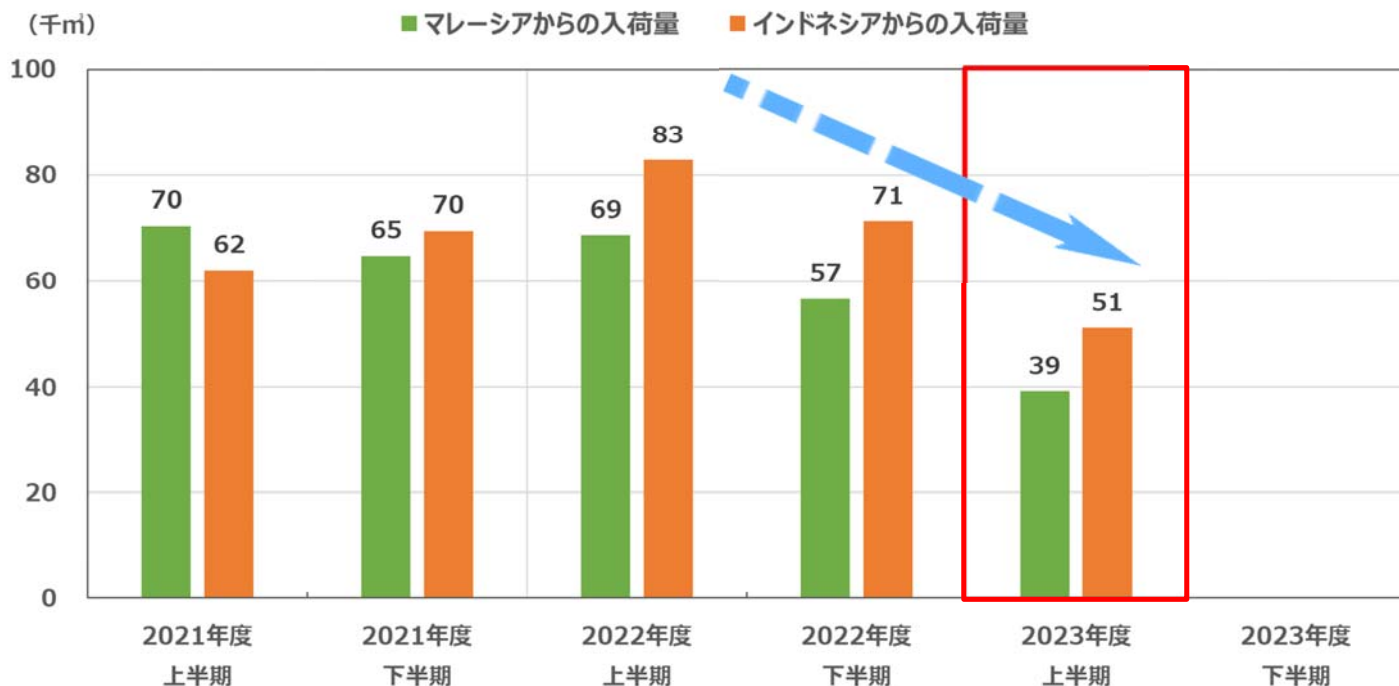
NODA

© 2023 NODA CORPORATION All Rights Reserved

20

輸入南洋材合板 入荷量推移

国内需要の低迷や港頭在庫増加の影響から、入荷量を著しく抑制



資料) 財務省「貿易統計」

※入荷量は6ヶ月間の月平均 (上半期: 12月~5月、下半期: 6月~11月)

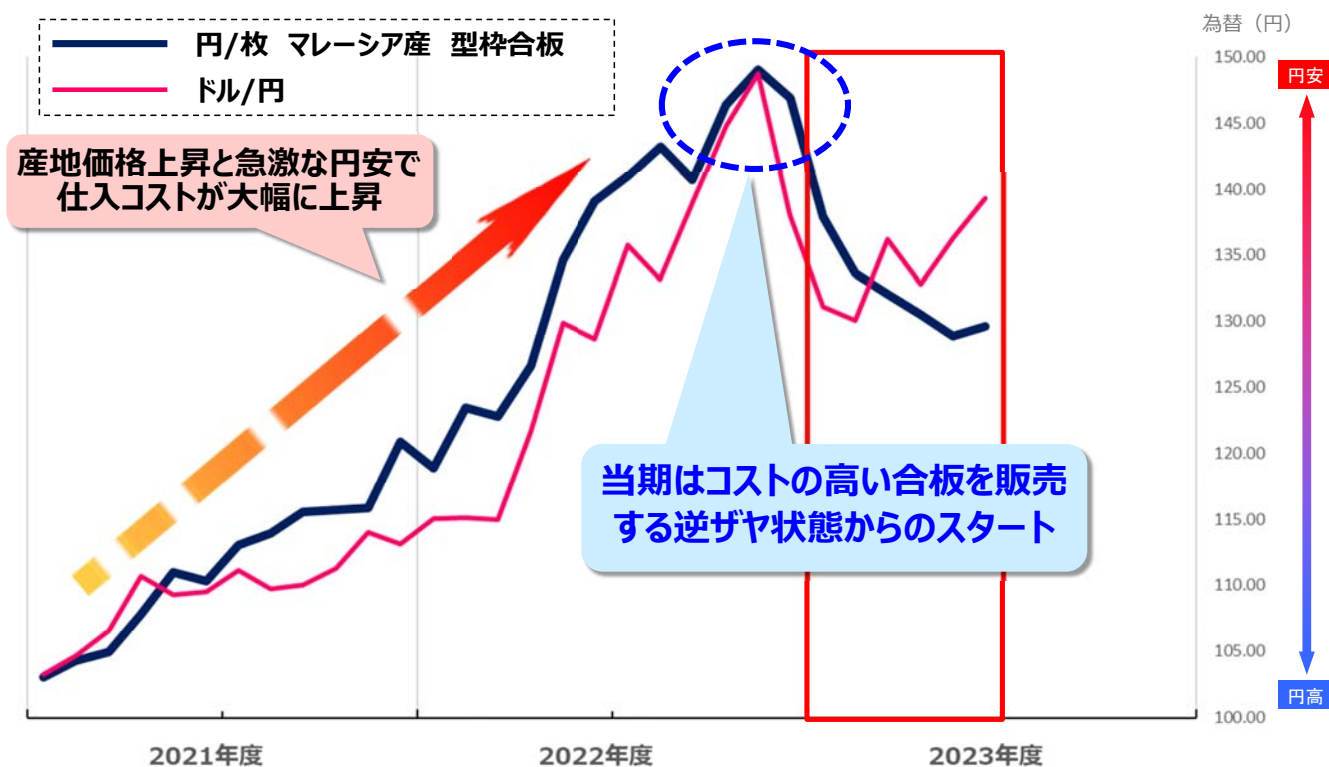
NODA

© 2023 NODA CORPORATION All Rights Reserved

21

輸入南洋材合板 仕入コスト推移

前期の大幅な仕入コスト上昇により、採算性がさらに低下



NODA

© 2023 NODA CORPORATION All Rights Reserved

22

連結業績予想

2023年11月期

連結業績予想ハイライト（総括）

通期業績予想は据え置き

| | 通期予想 | 前期比 |
|---------------------|------------|------------------------|
| 売上高 | 78,600 百万円 | ▲2,412 百万円 (▲3.0%) |
| 営業利益 | 6,300 百万円 | ▲3,497 百万円 (▲35.7%) |
| 経常利益 | 6,400 百万円 | ▲3,932 百万円 (▲38.1%) |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 3,600 百万円 | ▲2,456 百万円 (▲40.6%) |

セグメント別業績ハイライト

| <u>住宅建材事業</u> | 通期予想 | 前期比 |
|---------------|------------|-----------------------|
| 売上高 | 47,500 百万円 | +2,169 百万円 (+4.8%) |
| セグメント利益 | 2,200 百万円 | ▲347 百万円 (▲13.6%) |

| <u>合板事業</u> | 通期予想 | 前期比 |
|-------------|------------|------------------------|
| 売上高 | 31,100 百万円 | ▲4,581 百万円 (▲12.8%) |
| セグメント利益 | 6,100 百万円 | ▲3,104 百万円 (▲33.7%) |

下半期の事業環境

引き続き厳しい事業環境となる見込み

【足元の状況】

- **新設住宅着工戸数の低迷が長期化**
 - 「持家」は19ヶ月連続で前年比マイナス（2021年12月～2023年6月）
- **合板相場は引き続き調整局面で推移**
 - ただし、販売価格の値下がり幅は縮小傾向

市場動向の先行きは依然として不透明

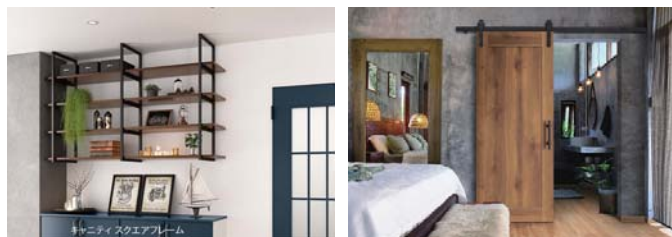
下半期の取り組み

2023年11月期

内装建材「カナエル」の拡販

新シリーズ「カナエル」を武器に提案営業の強化に取り組むことで、新たな需要を掘り起こし、シェアアップ・売上げ拡大を目指す

Canaeru カナエル
あなたらしさを新しくする



さまざまなライフスタイルに快適にマッチする

C-Design
カジュアルコンフォート



木目の色合いや風合いを楽しむ

R-Design
リゾートラシック



マットな単色が個性的な空間を演出する

T-Design
トレンドトーン

下半期の取り組み（住宅建材事業）

既存顧客との取引強化や新規顧客の獲得のため、
様々な販売施策を実行し、収益の確保に努める

地震・水害・湿気に強い 構造用HBWの拡販



リフォーム市場や貸家 市場への提案強化



非住宅分野の 市場開拓



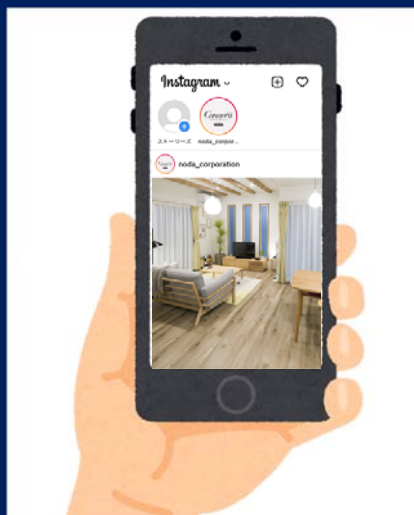
下半期の取り組み（住宅建材事業）

流通業者や設計・施工業者、さらには施主となる一般消費者まで
様々なお客様との接点強化を推進する

ショールームの活用 展示会の企画・出展



Web・SNSの活用



動画コンテンツの 拡充



下半期の取り組み（合板事業）

不安定な合板市況の動向を注視し、採算の確保に努める

適正在庫水準の維持
(生産調整・仕入管理)



適正価格での販売



製造コスト抑制
(歩留り改善・品質安定)



下半期の取り組み（グループ全体）

コストの削減や生産性の向上に努め、利益体質の実現を図る

固定費の
コントロール



労働生産性の向上
(IT活用・ペーパーレス化)



物流費の抑制
(配送効率の向上)



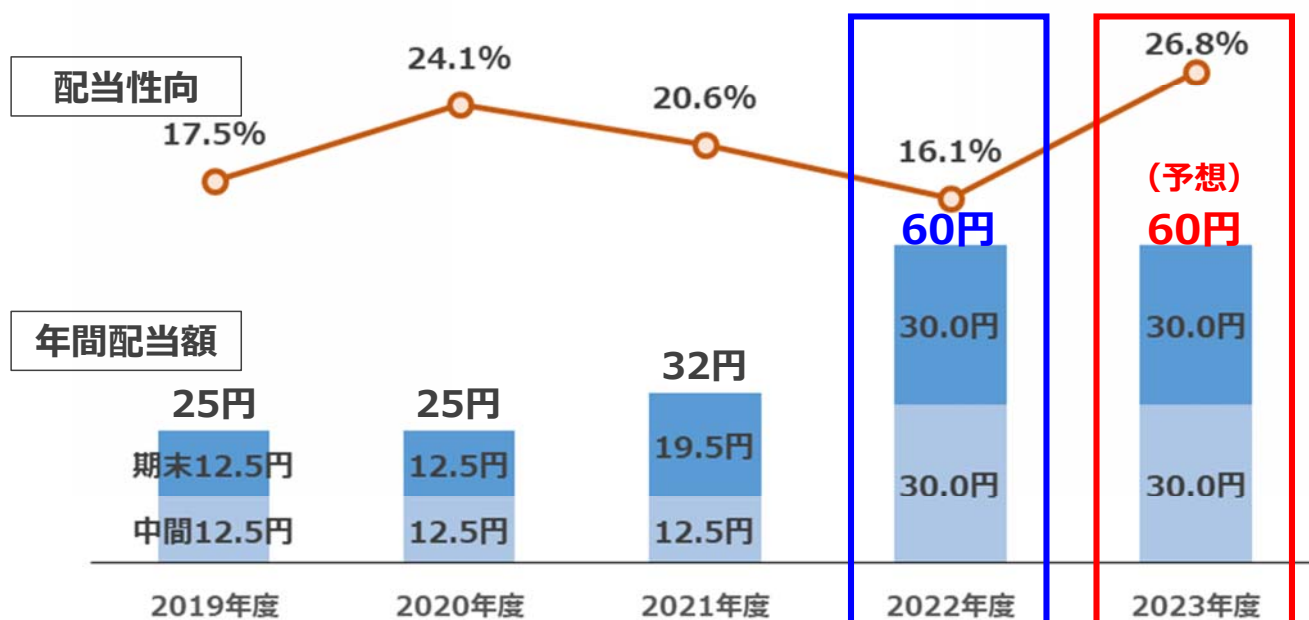
配当予想

2023年11月期

配当金の推移（直近5年間）

配当の基本方針：安定配当

- ・業績の状況及び配当と内部留保のバランスに配慮しながら、配当の安定性を確保するとともに、株主の皆様への利益還元を行う
- ・内部留保金については、財務基盤の充実強化並びに今後の事業展開に役立てる



ESGに関する取り組み

ESGに関する取り組み

【企業理念】主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

Environment

【国産材の活用】

健全な森林の整備と CO₂の削減に貢献

MDFや国産針葉樹合板の原材料として国産材(間伐材・未利用材等)を積極的に活用



【廃木材の活用】

森林資源の保護に貢献

再生資源・未利用資源である廃木材をチップとしてリサイクルし、エコ素材であるMDFを製造



住宅解体作業等から出る
廃木材チップ

ESGに関する取り組み

【企業理念】主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

Social 【職場環境の改善】

社員意識調査

- ・役職員が経営の方針・戦略を共有し、同じ方向に進んでより大きな成果を生むことが目的
- ・2022年4月から半年おきに継続して実施
- ・職場環境や制度待遇の改善、役職員間の対話機会増加に取り組み、会社をより良くしていく

ハラスメント防止研修

- ・事前学習と集合研修を通して良い行動・悪い行動を学び、実践することで良好な人間関係を構築
- ・社内の意思疎通を円滑にして生産性向上を目指す



ESGに関する取り組み

【企業理念】主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

Social

静岡県「ふじのくに森の防潮堤づくり」に協力

植栽林を潮風や砂から守る木杭材料として、合板の製造過程で発生する芯材(丸太の剥き芯)を寄贈し、地域社会に貢献



本取り組みが貢献する SDGs の目標



株式会社ノダは、持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



Governance

理念・ビジョンの浸透

- ・経営トップ自らが継続して社内に発信
- ・ビジョンの実現に向け、テーマ別に戦略の立案・推進を実施



参考資料

「ビジョン2030」経営理念

現在ならびに将来の様々な環境変化に対応し、持続的に成長し社会に貢献する企業であり続けるため、2021年2月に経営理念を改訂

ビジョン2030 木の心地よさを住まいから様々な空間へ

ノダグループは、持続的に成長し社会に貢献する企業であり続けるため、以下の通り経営理念を定めます。

【企業理念】

主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

【ミッション】 社会に果たすべき使命

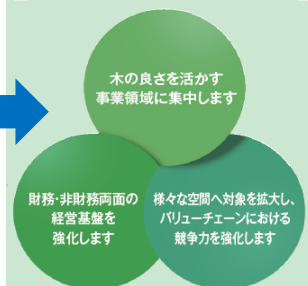
- ・木の良さを活かして快適な空間創造に寄与します
- ・木をムダなく使い、持続可能な森林循環に貢献します

【コアバリュー】 理念実現のための共通の価値観

共生・誠実・しんか(深化・進化・伸化・新化)



ビジョン2030実現のための経営戦略



理念実現のための基本姿勢



「ビジョン2030」環境への取り組み

快適な空間創造に寄与する製品を提供し、持続可能な森林循環に貢献し続けるため、SDGsの以下の目標達成に取り組む

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ノダは、持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

11 住み続けられるまちづくりを



目標11
「住み続けられるまちづくりを」

誰もが幸せに住み続けられるまちをつくるために、ノダは「サステナブルな木造建築の実現」「エコロジー部材の提供」を通じて安心・安全に暮らせる空間づくりに努めてまいります。

12 つくる責任 つかう責任



目標12
「つくる責任つかう責任」

持続可能な生産と消費を確保するために、ノダは「木質資源の製品・用途開発」「循環型の木質資源の活用」「廃資源もムダなく使いこなす」に努めてまいります。

13 気候変動に具体的な対策を



目標13
「気候変動に具体的な対策を」

気候変動の原因となる温室効果ガス（主に二酸化炭素）を削減するために、ノダは生産工場におけるエネルギー効率向上はもとより、太陽光発電などクリーンエネルギーの利用や再生可能エネルギーの利用などにより、地球温暖化防止に努めてまいります。

15 陸の豊かさも守ろう



目標15
「陸の豊かさも守ろう」

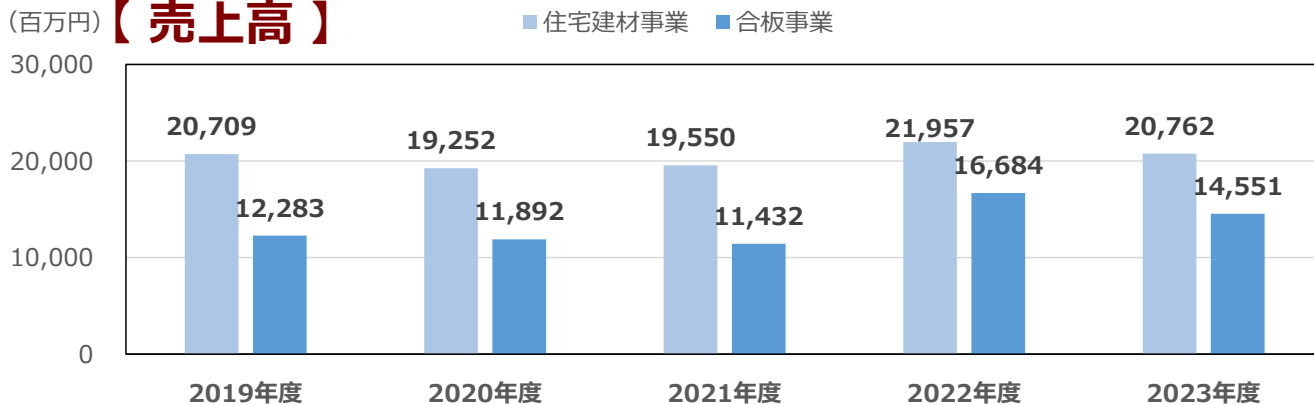
森林循環に貢献するために、原木生産者の安定販売先としての受け皿になるとともに、自社保有林での伐採後の植林を進め、木質資源の価値創造に努めてまいります。

2Q累計 連結業績推移（直近5ヶ年）

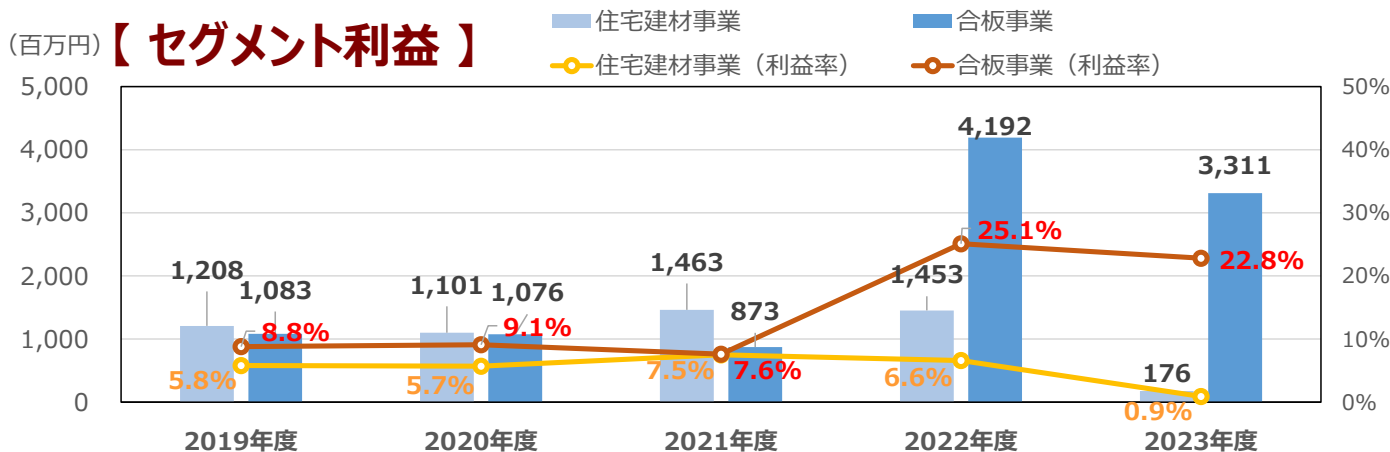
| (金額単位：百万円) | 2019年度 2Q累計 | 2020年度 2Q累計 | 2021年度 2Q累計 | 2022年度 2Q累計 | 2023年度 2Q累計 |
|----------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 売上高 | 32,992 | 31,144 | 30,983 | 38,641 | 35,314 |
| 営業利益 | 1,572 | 1,425 | 1,563 | 4,694 | 2,578 |
| － 営業利益率 | 4.8% | 4.6% | 5.0% | 12.1% | 7.3% |
| 経常利益 | 1,610 | 1,465 | 1,738 | 4,985 | 2,691 |
| － 経常利益率 | 4.9% | 4.7% | 5.6% | 12.9% | 7.6% |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 948 | 807 | 1,051 | 2,983 | 1,565 |
| 総資産 | 57,870 | 61,526 | 60,765 | 70,768 | 74,015 |
| 純資産 | 27,941 | 29,570 | 31,749 | 37,242 | 42,466 |
| 自己資本比率 | 43.6% | 43.3% | 47.0% | 47.0% | 50.8% |

2Q累計 セグメント業績推移（直近5ヶ年）

（百万円）【売上高】



（百万円）【セグメント利益】



NODA

© 2023 NODA CORPORATION All Rights Reserved

43

NODA

株式会社ノダ IR情報

<https://www.noda-co.jp/corporate/ir>



IRに関するお問合せ先 info-ir@noda-co.jp

本資料は情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。
 また、本資料に掲載されている計画や見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。そのため、今後様々な要因によって、本資料とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

© 2023 NODA CORPORATION All Rights Reserved